

「さいたま市総合振興計画審議会 第1部会」意見整理表

資料3-2

〈産業・経済の分野〉

施策1:地域の産業を守り、育てる環境の整備

施策2:さいたま市の特性を生かした新たな産業の創造

整理番号	意見の概要	対応方針
1	施策1と施策2の構成を再検討する必要があるとあって、例えば施策1は企業全般のこと、施策2は工業だけでなく商業や農業も含めて、市の特性を活かした新たな産業の創造について記載できると良い。	<p>ご意見等を踏まえて、</p> <p>施策1を「活力ある地域産業を育てる環境の整備」に修正</p> <p>1. 現状と課題の1つ目の・ 「中小企業者の経営基盤強化に向けた意欲的な取組を支援する必要性が一層高まっています。」に加筆、修正</p> <p>目指す方向性を 「地域産業の足腰を強化するための基盤づくりと活性化に取り組みます」に加筆、修正</p> <p>3. 成果目標のうち、「入込観光客数」を施策2へ移動</p> <p>4. 施策展開のうち、(1)の2つ目の・ 「既存企業の新事業展開、技術力の強化、販路拡大、新製品の開発などに対する支援」と、「技術力の強化、販路拡大、新製品の開発」を追記</p> <p>(2)の「観光」を施策2に移動、2つ目の・のうち、観光に係る部分を施策2に移動</p>
2	急激な経済のグローバル化の中で、世界レベルで市内の産業をどうしていくかを本気で考えなければならない。	
3	市内中小企業のグローバルな動きや新しい発想を、具体的に捉える必要がある。	
4	産業分野は全体的に記述が古い印象があるので、言葉を含めて工夫してほしい。	
5	産業分野の構成について、施策1には従来の業種展開と地域との共生について、施策2には都市基盤、交通、福祉など他分野を実現するための産業展開について記載することが考えられる。	
6	防災性に優れていることなど、色々な分野での市の特徴を生かした新たな産業展開が読み取れる記述となると良い。	
7	施策1の目指す方向性について、今は産業の「底上げ」ではなく「革新」しなければ生き残れないので、「底上げ」という言葉は見直してもらいたい。そのため、施策展開(1)については、中小企業の主体的な取り組みを支援するというニュアンスを強く出すべきである。	

8	<p>施策1の成果目標の「耕地面積」について、目標値を減少する設定としているが、地場産業を守り育てることを記述するならば、それと連動した数値で表しておくべきだ。</p>	<p>施策2 1. 現状と課題に、<u>経済のグローバル化に関する記述</u>を追記 2. 目指す方向性 4. の項立てとの整合性を取るため、<u>記載内容の順序を入れ替え</u></p>
9	<p>農業よりも緑化産業と考えた方が可能性が広がる。</p>	<p>4. 施策展開の(4)を(2)に変更し、<u>1. 現状と課題の記述の順番と4. 施策展開の記述の順番をそろえる。</u></p> <p>(1)に「<u>さいたま市の強みを生かした</u>」を追記、 ・の内容に、「<u>高度な基盤技術を有するものづくり企業の集積という本市の強みを生かし、</u>」を追記、「<u>戦略的な研究開発支援</u>」に修正。また、グローバル支援の記述を手厚くするため「<u>技術連携</u>」を追加</p>
10	<p>施策1について、さいたま市の観光としては、外から人を呼ぶだけでなく、市民をいかに市内で周遊させるかという視点があると良い。都市観光などの表現を加えてみてはどうか。</p>	<p>(2)の「次世代モビリティ、医療機器」を「<u>環境・エネルギー分野や医療・介護分野</u>」に修正</p>
11	<p>施策2の施策展開(2)の記述は、観光やスポーツなど比較的新しい分野のブランド開発であり、施策1のような地場のブランドについての記述が弱い。</p>	<p>(3)の防災性に優れた点について、地盤だけでなく、大規模な地下共同溝など災害に強いインフラを有している点を考慮し「地盤」を「<u>事業環境</u>」に修正</p>
12	<p>施策2について、公民学連携で取り組むことが大事で、すでに行われているような大学との連携についても記載すると良い。</p>	<p>(4)の施策を「<u>地域資源などの魅力を生かした観光の振興</u>」に修正 1つ目の・は内容をスポーツに限定せず、多様な地域資源の魅力を生かす内容に修正 2つ目の・は、<u>市民の市内観光に関する記述を含めた、シティセールスの推進に関する内容</u>を追記</p>

施策3：地域経済を支える人材の育成と就労支援

整理番号	意見の概要	対応方針
1	施策3は就職しようとしている人を対象にしているが、学生や就職後すぐに退職した人などを対象とする、働くことや生きていくことを考えるキャリア教育が大切である。そのため、施策展開(1)は「職業教育」ではなく、キャリア教育などもう少し広い視点で記述してほしい。	ご意見を踏まえて、 2. 目指す方向性 「 <u>学校教育とキャリア教育の連携を図り、地域経済を支える人材の育成、多様な就業機会の創出など、</u> 」に修正
2	学校教育と産業人材育成のための教育にはミスマッチがあるので、学校教育と連携してキャリア教育を進めていく視点を入れてほしい。	4. 施策展開の(1)をキャリア教育の内容に修正、 (2)は求職者の幅広い年齢層とニーズの多様性について修正 (3)は「 <u>誰もが</u> 」を文の冒頭に加筆

◎「成果指標」に関して調整部会において検討とするもの

施策	意見の概要
施策1	施策1の成果目標の「耕地面積」について、目標値を減少する設定としているが、地場産業を守り育てることを記述するならば、それと連動した数値で表しておくべきだ。【再掲】

◎「（仮称）皆さんも取り組んでみませんか」に関して調整部会において検討とするもの

施策	意見の概要
施策3	「（仮称）皆さんも取り組んでみませんか？」では、職住近接のさいたまライフを楽しもうといったことを表せると良い。

◎ 「（仮称）重点戦略」に関して調整部会において検討とするもの

施策	意見の概要
施策 1・2	産業分野の構成について、施策1には従来の業種展開と地域との共生について、施策2には都市基盤、交通、福祉など他分野を実現するための産業展開について記載することが考えられる。
施策 1	産業分野でも、障害者の雇用促進という視点を持って、民間企業で働ける環境づくりの視点を持つことはできないか。障害者にとって農業分野での就労は適応があり、そのような意識をもって表現が工夫できると良い。
施策 3	学校教育と産業人材育成のための教育にはミスマッチがあるので、学校教育と連携してキャリア教育を進めていく視点を入れてほしい。【再掲】

◎ 「次期実施計画」策定の検討や事業実施の際に参考とするもの

施策	意見の概要
—	市内の大きな事業体である市が物品調達や委託する際には、地元企業を優先する、地元調達の仕組みをつくり、地元にお金が回ると良いと感じる。
—	市からの発注で地元を優先する方法として、PFIやPPP、コンストラクションマネジメントなど地元でなければできないものがあるので、これらを含めて検討してほしい。
施策 1	産業分野でも、障害者の雇用促進という視点を持って、民間企業で働ける環境づくりの視点を持つことはできないか。障害者にとって農業分野での就労は適応があり、そのような意識をもって表現が工夫できると良い。【再掲】
施策 3	学校教育と産業人材育成のための教育にはミスマッチがあるので、学校教育と連携してキャリア教育を進めていく視点を入れてほしい。【再掲】